

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
ハビネス		令和 8 年 5 月 30 日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	玩具等の収納する際に分かりやすい様に視覚化し片付けに役立っている。	誰でも見てわかる様に配置等を工夫をし視覚化する事で生活空間をうまく使える様に改善していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	2	ずれない様に滑り止めマットを使用	フロアマットのずれで段差が出来ているのでケガの心配がある
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	個別活動や宿題等に個別の部屋を設けている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	始業前にミーティングを行い振り返りしている。	より良い支援に繋げられる様に報告・連絡・相談を徹底して行なって行きたい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	保護者から頂いた意見をミーティング等で職員へ周知し改善に努めている。	今後も継続し業務改善に努めていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	毎日のミーティングでの意見交換を行なっている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2		定期的な外部評価はあるが、業務改善までに至っていないこともある。評価結果を見直し業務改善に努めていく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	年に4回ほどの社内研修や事業所内での勉強会を行い質の向上に努めている。	引き続き、社内研修の実施や職員全員が研修に参加する事で、より良い支援の資質の向上を図っていく。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	ホームページに掲載し公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	支援に関わるスタッフの意見も確認しながら作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	毎朝のミーティングで児童の様子を共有し、共通理解のもと支援を行なっている。	引き続き、職員全員で共通理解の下意見を出し合い行なっていく。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	毎朝のミーティングで共有している。	都度、支援計画の見直しも行いながら支援に当たっていく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	保護者よりアセスメントの聞き取りを行い行動状況を共有している。	定期的にあセスメントを更新しより良い支援に繋げていく。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	保護者や相談員から得た情報やニーズをもとに個々にあった支援内容を設定し支援を行なっている。	支援が不十分な児童もいる為、優先順位を立てながら支援内容を設定し個々にあった療育を行なっていく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	職員間で意見を出し合い、曜日・人数・メンバーによってプログラムを考えている。	今後も職員で意見を出し合い飽きのこないプログラムの立案を行う。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	マンネリ化せず色々チャレンジ出来る様にプログラムを考えている。	マンネリ化しない様に活動内容を予定表に書き込める様に行きたい。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0		子ども達の状態やその日の状況に合わせてサポートしながら支援していく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	朝のミーティングで活動内容を話し必要物品等を準備するなどし連携を図っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	翌日のミーティングで共有している。	その日の支援はその日のうちに振り返りできる様な体制作りを行なって行きたい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0		支援記録をしっかりと記入し日々の支援に活かしていきたい。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	1		6ヶ月に1回のモニタリングを行なっているが、必要時には不定期でも行えるようにしていきたい。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	必要時には、児童発達支援管理以外のスタッフも参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1		他機関との連携が少ないので連携をとり支援に役立てていきたい。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1	相談員の下、支援会議を開催し情報共有を行っている。	移行に向けた動きが少なく感じる。引き続き支援内容等の情報共有と相互理解を図っていきたい。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	支援会議を開催し情報共有を行なっている。	密に連携をとり就学に向けての支援の相互理解を図っていきたい。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	3		地域との連携が取れてない事があり、研修を通して連携を図っていきたい。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	5		地域との関わりが薄く活動する機会がない為、地域へ出向き交流する機会を増やしていきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	連絡帳やLINE・電話等で状況を伝えられている。送迎時にもこまめに状況報告できている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3	子育てサロンとして保護者の勉強会を行い、情報共有の機会を設けている。	勉強会の開催はあるが周知不足か参加人数が少ない。保護者の困り感を聞き出し、困り感が一つでも減る様に情報提供していきたい。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時に行なっている。	契約時に説明を行なっているが、必要であれば都度説明できるようにしていく。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	子どもや保護者の意見を聞き作成する様に心掛けている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0		契約時に説明を行なっているが、必要であれば都度説明できるようにしていく。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	保護者からの相談等があれば適宜対応している。	相談等には適宜対応しているが面談を行う事が少ない。保護者のニーズも確認しながら面談を行い支援に繋げていきたい。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	5	年に一度、外部講師を招き保護者への勉強会実施。	勉強会を開催しながらレクやBBQといった交流の場を設け保護者やきょうだい同士の交流支援にも繋げていきたい。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	・毎月のだより発行。 ・Instagramを開設し活動状況等の発信を行っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	個人ファイル等は鍵つき棚にて厳重に保管している。	引き続き、個人情報の取り扱いには十分に気をつけていく。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	言葉以外にもジェスチャーや絵カード等を使用し視覚的コミュニケーションを図っている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5		地域との関わりが薄いため、地域資源を確認しながら検討していく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	マニュアルを策定し訓練を実施している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	定期的な避難訓練の実施。	救出訓練が出来ていないので今年度実施予定。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0	保護者より情報を頂き職員とも共有している。	保護者との情報共有をしっかりと行い事故等のないようにしていく。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	保護者より情報を頂き対応している。	保護者との情報共有をしっかりと行い対応していく。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	定期的な安全管理研修を行い、安全管理に努めている。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0		保護者LINE等で連携は取れているが、非常事態時の待ち合わせ場所・避難場所等をしっかりと周知していく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	毎日のミーティング等で些細な事でもヒヤリハット報告を行い再発防止に努めている。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	会社内での虐待防止委員会を中心に研修を行っている。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	身体拘束について説明を行い、事前に同意書をいただいている。現在、該当児童がいがないが必要時には計画書へ記載していく。		